

拝啓 今年も早や9月下旬となりました。いつもエンカウンターをお読み頂きありがとうございます。近所の公園では、今の時期は、百日紅やむくげなど、夏の花が名残を残して咲いています。今年の夏は暑かったり、雨の日が長く続いて、不順でした。台風で、家が壊れ、停電が続いている千葉県の方々はお気の毒に思います。

今回は、小西芳之助先生の『わが主イエスよ一恵心流キリスト教・説教集一』の10回目で、「第11講まさに知るべし、ロマ書10章12,13節により称名する者、決定往生するを(その1)」と第11講続き(その2)からの紹介ですが、3ページ、「自分のなしたきことではなく、なすべきことをなす」という項には、次のように書かれています。

「平凡なる、平凡に見える日常の義務を、自分のなしたいことではなく、なすべきことを成す、神の意思をなす平凡なることをなす、平凡なる神の意志をなす訓練が、時至らば、偉大なる十字架を担うの決心の力となって現われる。力が問題です。己に勝つ力が問題です。その力は、日々稽古して、毎日の生活において、その力を稽古する。」

また、4ページ、「平凡なる人生」という項には、次のように書かれています。

「平凡なる人生。ここで決まる。人間が決まる。立派な人になるのには、変わったことをする必要はない。」

小西先生が精魂込めて伝えられた信仰を、まねをし、真に頂く者となりたいと切に思います。

9月1日、小西先生の『ピリピ書・コロサイ書講解説教』が完成し、大勢の皆様にお送りすることができました。ピリピ書は、「我等の国籍は天にあり」など、有名な言葉が多く書かれている手紙で、学生の頃から、大好きな手紙でした。コロサイ書は、パウロの霊性が高い手紙で、感銘深い手紙です。この二つの手紙を、高円寺東集会で聞いたテキストを基に、佐藤文男兄弟、小西忠雄兄弟と共に、本の形に直して、出版できたことは、大変うれしく思いました。多くの方から感想を頂きましたが、活字が大きく読みやすい、小西先生の声が聞こえるような思いがする、などの感想を頂いて、励まされています。

8月27日と、日光の男体山に登ってきました。8月26日は、中禅寺湖湖畔のペンションに泊まり、湖畔を散策し、心豊かな一時を持ちました。私は男体山は今回で3度目の登山でしたが、翌日早朝宿を出発し、5合目から上は結構急な登りで、時間がコースタイムの倍近くかかりました。中禅寺湖から頂上まで、高度差が1200メートルあり、それを往復したわけですから、きついのは当然でした。

9月14日、岡山に行き、高校時代に登山の楽しさを教えて頂いた岡山エーデルヴァイス山岳会の会長の原田元衛先生の95歳のお祝いの会に出ました。当時のリーダーの竹馬浩さんが作成されたエーデルヴァイス山岳会の写真集を頂き、懐かしさで満たされました。

これからは、涼しくさわやかな毎日が続くことを願いますが、みなさまもどうぞお元気で過ごしてください。

2019年9月25日

山口周三

エンカウンターのご読者各位